

<p>開発課題 1-2 (小目標)</p> <p>産業多角化を促進する官民の人材育成</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>ボツワナ政府は、資源依存型の経済産業構造から脱却し、持続可能で多角的な経済を目指すため、産業の多角化を推進しているが、その担い手となる民間部門においては製造業の労働生産性が低く、多様な産業の発展を促進するための人材育成が大きな課題となっている。また、本目標に必要な政策を実施・管理する公的サービス部門の人材育成も必要である。</p>			<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>「産業人材・職能人材の育成」及び「公的サービス部門における効率化・能力向上」分野につき各種研修等を実施し、産業多角化を推進する上で必要となる能力の強化を支援する。</p>								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度		
	官民人材育成プログラム	民間の産業人材・職能人材の育成を支援するとともに、公共投資や環境管理の質の向上に向けた公的サービス部門における効率化、政策実施能力向上、政策管理能力向上等を支援し、産業構造の多角化を実現し、資源輸出への過度依存から脱することを目指す。	公共事業監理	個別専門家		■■■■■						
			資源分野の人材育成プログラム(資源の絆)	個別研修	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■			
			SDGsグローバルリーダーコース	国別研修								
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)	国別研修	■■■■■	■■■■■						
			官民人材育成分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■■	■■■■■						
官民人材育成分野のJICA海外協力隊			JOCV	■■■■■	■■■■■							

重点分野2 (中目標)	貧困削減及び生活の質の向上											
開発課題2 (小目標) 格差是正・生活の質の向上	【現状と課題】 ボツワナ政府は、積極的に教育・保健セクターへの公共投資を行っているものの、教育の質の向上、高いHIV/エイズ罹患率への対応をはじめとする保健医療体制の確立、生活の質の向上、持続可能な資源管理といった社会生活改善が課題となっている。また、急速な経済成長や地理的要因等による経済の格差は是正されておらず、高い失業率、所得格差及び貧困といった問題が依然として存在する。				【開発課題への対応方針】 経済格差を是正し、貧困を削減するため、生計向上等のコミュニティ開発、持続可能な資源管理、教育環境の整備の分野で支援するとともに、海外協力隊事業や研修事業等を通じて社会的弱者のエンパワメント、文化・スポーツ振興を含むコミュニティにおける生活の質の向上に資する支援を行う。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	貧困コミュニティにおける生計向上、教育、社会福祉、公衆衛生、文化・スポーツ振興等の分野における環境整備、人材育成等を支援し、基礎的な社会サービスや生活の質の向上を図る。		草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	0.66	平成21年度1件、平成28年度2件、平成30年度4件、令和元年度3件
			ボツワナ国に対する国際機関等経由の熱帯病撲滅加速支援	マルチ							0.2	世界保健機関(WHO)
			一村一品運動による地場産業振興研修(ケニア)	第三国研修								
			地場産業振興・地域振興分野の課題別研修	課題別研修他								
			地場産業振興・地域振興分野のJICA海外協力隊	JOCV								
			ボツワナ国に対する国際機関等経由の食糧と栄養の安全保障に係る緊急支援	マルチ							0.55	国連食糧農業機関(FAO)
			食糧と栄養分野の課題別研修	課題別研修他								
			スポーツ振興分野のJICA海外協力隊	JOCV								
持続可能な資源管理プログラム		地域住民による持続的な自然資源の利用や生計向上活動を促進し、生態系と人間活動の調和のとれた社会づくりに貢献する。	南部アフリカ地域持続可能な森林資源管理・保全プロジェクト	技プロ						7.61		
		アマゾン盆地及び南部アフリカ地域における森林火災に係る基礎情報収集・確認調査	情報収集調査									
		生物多様性・生態系保全研修(マレーシア)	第三国研修									
		マスタープラン策定を通じた森林・草原資源の保全と持続可能な利用のための能力強化プロジェクト	技プロ									
		資源管理分野の国別研修	国別研修									

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)